

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	危機管理室特命主幹 田喜知 和仁		
		主管課(関係課)【2】	危機管理室(道路管理課)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
安2-2 防犯・交通安全の推進		安全なまちづくりと暮らしのために	安全で快適に暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	安全・安心して暮らせる住みやすいまちであるためには、犯罪や交通事故などが少ないことも重要な要件です。自治会・町内会が減少し、地域の安全を守る上での課題となっています。また、交通安全については、市内での交通事故発生件数、死傷者数はともに減少していますが、児童などが登下校時に交通事故に巻き込まれるケースもみられます。今後は、地域の防犯や安全・安心を確保するために、地域をよく知る自治会・町内会などの地域コミュニティや防犯活動団体による防犯体制、市民、地域、学校、警察、行政が連携した情報連絡体制の整備の強化など、地域に密着した防犯・交通安全の取組が不可欠です。また、社会問題化している振り込め詐欺などの被害防止については、関係部署や関係団体と連携した、全市民的被害防止対策の検討が必要です。		◆防犯活動団体への支援 ◆市民、学校、警察、行政が連携した防犯、交通安全への取組の強化 ◆振り込め詐欺などの対策	だれもが安心して暮らせる、安全なまちづくりを進めます。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
◇平成27年6月から道路交通法の一部改正により、自転車の「信号無視」「一時不停止」などの危険行為について取り締まりが強化されることになりました。					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	市民と連携して防犯体制の強化を図ります	防犯協会、防犯活動団体等との連携強化		
	2	市民と連携して交通安全の推進を図ります	交通安全にかかわる組織・団体・市民との連携強化		

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「子どもの見守り活動など防犯・交通安全の推進」に対する満足度	目標値	25%			単位	%		
		算出式・説明	子どもたちが安心して暮らせる安全なまちづくりを進めるため、市が行っている「子どもの見守り活動など防犯・交通安全の推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。								
		実績値	21.9	21.9	21.9	23.6					
	指標2	名称	刑法犯の発生件数(西東京市)	目標値	削減			単位	件		
		算出式・説明	地域の防犯対策の効果をj知るうえで、刑法犯の発生件数の把握は重要jです。このため、市民や関係機関と連携して防犯活動を強化し、刑法犯の発生件数を減らしていきます。(実績値は1月1日~12月31日のデータ)								
		実績値	2232	2012	2080						
	指標3	名称	交通事故発生件数(西東京市内)	目標値	削減			単位	件		
		算出式・説明	市民と連携した交通安全対策の効果をj知るうえで、交通事故発生件数の把握は重要jです。そのため、交通安全施設の整備や市民や関係機関と連携して交通安全の取組を強化し、交通事故発生件数を減らしていきます。(実績値は1月1日~12月31日のデータ)								
		実績値	650	513	473						
	指標4	名称		目標値				単位			
		算出式・説明									
		実績値									
達成率の平均値					73%	0%	0%	0%			

【市民意見】【13】

24年度		27年度			
満足度(%)	21.9%	満足度(%)	23.6%	満足度(%)	
満足度(平均ポイント)	-0.27	満足度(平均ポイント)	-0.19	満足度(平均ポイント)	
重要度(%)	84.8%	重要度(%)	83.8%	重要度(%)	
重要度(平均ポイント)	1.45	重要度(平均ポイント)	1.39	重要度(平均ポイント)	

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		<p>◇防犯対策としては、下校時間帯における青色防犯パトロールの実施や、ゴールデンウィーク期間中における地域合同パトロール等を実施しています。今後も地域と連携し、防犯体制を強化する必要があります。</p> <p>◇防犯意識の向上のために、防犯講話を実施しています。</p> <p>◇防犯活動団体とのリーダー連絡会や、団体への補助制度等により支援を行っています。</p> <p>◇高齢者支援課が発送する通知に振り込め詐欺被害防止のチラシを同封することや、協働コミュニティ課との共催による防犯講演会など、他課及び警察との連携を行い、特殊詐欺被害防止に取り組んでいます。</p> <p>◇緊急メール配信サービス(安全・安心いーなメール)により、防犯に対する意識啓発等を行っています。</p> <p>◇平成26年度交通事故で怪我された方の約40%が自転車に起因する事故によるものであることから、自転車利用者の交通安全意識の向上を図ることが課題となっています。</p>				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		<p>◇防犯活動団体との定期的な連絡会や情報提供を継続して行うとともに、登録団体の拡充に引き続き取り組みます。</p> <p>◇緊急メール配信サービス「西東京市安全・安心いーなメール」の登録者数の増加に向け、引き続き取り組みます。</p> <p>◇自転車利用者の交通安全意識を向上させるため、市報やホームページ、さらにイベント開催時に交通安全について周知を図っていきます。</p> <p>◇市内の交通安全施策の推進には、交通安全にかかわる組織・団体・市民の協力が重要であるため、今後更に関係機関との連携を強化していきます。</p>				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	<p>防犯・交通安全の推進については、警察と役割分担を行いつつ、連携して対応すべき施策であることから、これまで本市では、防犯面の取組として、防犯活動団体への支援や防犯パトロールのほか、犯罪被害防止の啓発などに取り組んできました。また、交通安全対策としては、道路反射鏡や道路区画線などを整備し、安全性を向上させるとともに、交通安全・自転車教室の実施など意識啓発に努めたことから、市内の交通事故発生件数は減少しました。</p> <p>市民意識調査結果では、前回調査と同様に満足度が低く、重要度が高いことから、警察との役割分担の中で、防犯活動団体や地域コミュニティへの支援など、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。</p>		
施策実施方針【22】	II	成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

安2-2 防犯・交通安全の推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
2	交通安全・自転車教室の実施	道路管理課	交通の安全を確保するために、学校・家庭・地域と連携しながら、小学生を対象とした交通安全教室や高齢者向けの交通安全のつどいなどの啓発活動を推進し、市民の交通安全意識の向上を図ります。
	道路反射鏡、道路区画線等の設置	道路管理課	市道等の信号機のない十字路、丁字路、カーブ等で、特に視認性の悪い箇所などに、道路反射鏡を設置するとともに、歩道が設けられていない道路等に路側帯等の標示を行っています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
9,657	7,187	2,470	改善・見直し(平成25年度)	上	市内の防犯ネットワークにより、地域の防犯力の向上が図られ、犯罪の減少につながります。
10,290	6,173	4,117	改善・見直し(平成25年度)	中	小学生に自転車安全教室を行うことで、交通安全意識の向上が図られ、交通事故の減少につながります。
15,920	11,803	4,117	継続実施(平成20年)	中	道路反射鏡、道路区画線等の設置により、交通の安全を確保することができ、交通事故の減少につながります。
35,867	25,163	10,704			